

アート之窗



美術館では、昨年に引き続き、今年も香美アートアニュアル展を開催します。2回目となる今年は、高知ゆかりのイラストレーター

の作品と仕事をご覧いただく展示となります。参加する9名のイラストレーターを紹介いたします。

小笠原まきは、癒やし系のイラストで、柔らかなタッチで描くメルヘンの世界を病院内の壁画に多く描いて

物像や少レクセのある動物のイラストが特有の味わいを醸し出しています。デハラユキノリは、粘土によるフィギュア作品で有名です。彼の少しグロテスクで

香美アートアニュアルvol.2

—イラストレーターの仕事—

6月3日(火)～7月21日(月・祝)



▲gift/カミムラアキコ

ていませ。カミムラアキコは、単純化された動物のイラストに特徴があり、そのかわいさは見る人を取りこにします。茂本ヒデキチは、ダイナミックで力感にあふれたイラストで、スポーツ選手や著名人の姿を墨

吉井勇記念館だより

紫陽花コンサート

ハーモニカアンサンブル演奏グループ、橋ハーモニカクラブの皆さんによるコンサートを開催します。

吉井勇作詞のゴンドラの唄をはじめ、懐かしい歌謡曲・童謡などが演奏されます。迫力あるハーモニカの音色をお楽しみください。

【日時】6月21日(土) 14時～

※13時10分～学芸員による展示解説あり(要入館料)

【場所】吉井勇記念館

【送迎バス】※要予約

香美市役所本庁舎より、役所香北支所前経由で、送迎バスを運行します。

行き 本庁舎12時30分発 (香北支所前12時50分)

帰り 記念館15時15分発 香北支所前15時50分

年間パスポートのご案内

年間パスポート会員になると、有効期間中に何回でも無料で入館できるほか、年3回の会報で、吉井勇や猪野々に関する情報、企画展の案内等をお届けします。

【申込先】〒781-4247 香北町猪野々514番地 吉井勇記念館

【申込方法】所定の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、年会費1500円を直接記念館にお持ちいただくか、定額小為替または現金書留で、吉井勇記念館までお送りください。※随時受付、1年間の更新制

【注意事項】申し込み用紙提出後、年会費が入金された時点で会員となります。申し込み用紙は郵送もできますのでご連絡ください。

香美市文芸 風の流

◆一般投稿作品◆

広報委員会 選

春田役元親二町寺水路
 久々に峡賑わしき鯉織
 合歓の花こほかぎと呼ぶ母の里
 久しぶり座せば楽しき花むしろ
 五月鯉乗つて越えたい喜寿の坂
 庭の木刈り込み曾孫初職
 茶摘みやめ六十年余なつかしき
 著我咲いて木下明るき宮の杜
 乾杯のコップに受ける花吹雪
 したたかに降りて木の芽を起しけり
 石垣に山吹き垂れて高知城
 粟播きて少し雀に残しけり
 梅の花香りとどかぬ院の窓
 昨日より今日風優し迎春花
 ピンク色空にちりばめこぶし咲く
 部屋一面春陽遊びて老夫昼寝
 病む心癒やしてくる春の風
 生け垣の刈り込み終えし五月晴
 夕闇に白き紫陽花浮かびけり
 バレンタイン孫と嫁との置きみやげ
 花かげにつるべのありてもらい水

福留とものり 上池 児末 森本 幸美 森本 純喜 三谷 誠郎 高野 和一 有澤 春江 岡田美代子 森岡 秀野 千頭 野草 北村千鶴子 都築 忠義 田嶋小恵子 相澤 睦子 坂本美智子 小泉 子川 小原 景守 山崎 寿美 山崎 貴子 楮佐古きよ 門脇 千代

岡本かほる 明石ゆきゑ

絶筆の龍馬の書簡春はやて
 まだ会はずぬ嬰兒の名呼ぶや遠霞
 金星が月と並びし春の宵
 屋敷跡藤の花房残りをり
 植え変えし木に若緑安堵する
 英豌豆給ふ声掛く籬窓

父と子の草笛付かず離れずに
 春野菜病後の体うるほして
 わが余生終る日思ふおぼろかな
 買溜めの右往左往や弥生尽
 草笛を競ふ墓前の三姉妹
 霧や影絵のごとき安房・上総
 入学式終り帰る子声高し
 草笛の音うらがへる昭和歌
 山桜読経の御衣風孕む

かがみ野俳句会

代代の質素儉約かぼちや蒔く
 湖の辺のさくら妖しき夕べなり
 梨の花咲いて齢を忘れけり
 じゃが芋の爵位の種を植ゑにけり
 降りさうでどうにかもちぬ花の宴
 ぼうたんに蓄を授け上がる雨
 小さき手を優しく握る花時雨
 草刈機抱へ思案の畦に立つ
 水音の乗り越へる堰夏近し
 遠蛙かの人の田を想ひけり
 林道の終点一人静かな
 たんぼぼや二十年経し地震更地
 往来を見守る地藏橋遅日
 朴芽吹くやなせたかしの古里に

北村 幸子 北村 里子 小野川順子 前田 芳子 中内ゆかり 竹内 ろ草 佐竹 洋子 佐藤 幸 利根 弘子 古川 信子 小松 愛子 中澤 美晴 森本 健代 山崎 鈴子 吉田 芳 乾 真紀子 奥宮さとみ 久保内鏡子 小松 隆之 小松 完 小松 昇 野村 里史 前田 智 森本 之子 山崎かずみ 山中 晶子 山中 明石 黒岩千英子 杉山 春萌

やなせ公園春月高く上りたる
 朴咲きてやなせ先生戻り来る
 その花を今見てみると言ふメール

◆土佐山田町俳句会◆

神池の女池の太藪風薫る
 ひと在所映して田水はられけり
 取り替へて又取り替へて草の笛
 春立つ日通夜堂ふんわり目覚めおり
 仏生会メモとる人もいる法話
 キリンの前で遠足の子とハイタッチ
 花後の緑もつとも華やげり
 おはようの瞳かがやく一年生
 売れ残る宅地一面花すみれ
 縁起良く茶柱立つや一番茶
 風が棲みつく巣箱平山小学校
 節子忌や落花の下に今日一日

明石 蕪生 大石 邦男 橋本 昭和 安丸 慎子 森田 菊恵 前田美智子 前田 小夜 菅岡 英世 森田 貞男 川谷 泰山 榎谷 雅道 田村 一翠

◆今月のキラリ◆
 昨日より今日風優し迎春花
 冬の寒さが3日続くと、次の4日間は温かい。
 三寒四温を繰り返しながら春を迎える。そんな
 春先の1日の感慨か。迎春花は黄梅のこと。

◆俳句・短歌の投稿方法◆
 ▼投稿方法は自由。住所、氏名、電話番号を明記してください。
 ▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。
 ▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

【投稿先】総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
 〒782-18501 (住所記載不要) FAX 53・5958